

名鉄バス(株)、名古屋観光日急(株)

「愛・地球博」シャトルバス路線を申請

2005年日本国際博覧会協会の鉄道系アクセスルート計画に基づく3路線

名鉄グループの名鉄バス(株)と名古屋観光日急(株)は、「愛・地球博」開催期間中の平成17年3月25日(金)～同年9月25日(日)まで、「愛・地球博」長久手会場と名古屋駅(名鉄バスセンター)、瀬戸線尾張瀬戸駅(瀬戸市)、豊田線黒笹駅(西加茂郡三好町)をそれぞれ結ぶ3路線について、本日(12/22)、中部運輸局に申請しました。

これは、2005年日本国際博覧会協会の鉄道系アクセスルート計画に基づき申請したもので、1)各社鉄道路線の集中する名古屋駅前地区の「名鉄バスセンター」、2)名古屋市栄と瀬戸市を結ぶ瀬戸線の終点「尾張瀬戸駅」、3)地下鉄鶴舞線との相互乗り入れにより名古屋都心部と豊田市を結ぶ豊田線の「黒笹駅」を発着地とし、鉄道路線と連携したバスアクセスを整備。総称「EXPOライナー」として運行します(黒笹を除く)。

中でも多客が予想される名古屋駅(名鉄バスセンター)発着は、乗換えなし・全員着席の唯一の直行アクセス手段として、名古屋駅と会場間を35分で結びます。また、より円滑な輸送を図るため、旅客需要にあわせ、基本ダイヤに加え随時増発を実施する予定です。

所要時間と運賃は、名古屋駅(名鉄バスセンター)発着が35分で大人片道1,000円、大人往復1,800円(片道あたり900円)【*05年1月31日に往復1,500円で許可を受けました。詳しくは同日のニュースリリースをご覧ください】。多客が予想される午前7時台から同9時台は10分間隔で運行します。また、尾張瀬戸駅発着が18分で大人片道500円、黒笹駅発着が23分で大人片道700円を予定しており、1日あたりの平均利用者数(往復)は名古屋駅(名鉄バスセンター)発着が約6,500人、尾張瀬戸駅発着が約1,200人、黒笹駅発着が約800人を見込んでいます。

なお、名古屋駅及び黒笹駅を発着するバス車両は座席定員制のデラックスバスタイプを運行、尾張瀬戸駅を発着するバス車両は立ち席可能な路線バスタイプでの運行を予定しています。

このほか、名鉄グループ各バス会社では、路線型直行バスとして、豊橋駅、東岡崎駅、新一宮駅、新岐阜駅などの沿線主要駅及び高山、東濃、北陸地区などからの運行について申請準備を進めています。

申請内容は以下のとおりです。

ルート名	名古屋駅シャトル	尾張瀬戸駅シャトル	黒笹駅シャトル
運行区間	名古屋駅(名鉄バスセンター4階) ⇕ 「愛・地球博」長久手会場東ターミナル	尾張瀬戸駅 (栄町から約32分) ⇕ 「愛・地球博」長久手会場東ターミナル	黒笹駅 (地下鉄伏見から約34分) ⇕ 「愛・地球博」長久手会場東ターミナル
所要時間	35分	18分	23分
運賃 *小児半額	片道	1,000円	500円
	往復	1,800円*(05/01/31に1,500円で許可を受けました)	1,000円
運行間隔	10~30分	20~60分	30分
基本運行本数 *随時増発	99本/日(*)	51本/日(*)	30本/日
運行会社	名鉄バス(株) 名古屋観光日急(株)	名鉄バス(株)	名古屋観光日急(株)
備考	名鉄バスセンター発 午後便と会場発全便は「ささしまサテライト会場」に停車		

<参考>・名古屋駅~(地下鉄藤が丘・リニモ)~会場...所要時間37分(乗り換え時間含まず)、大人片道普通運賃630円
・名古屋駅~(JR中央線・愛環鉄道・リニモ)~会場...所要時間41分(同)、大人片道普通運賃940円

